



つながりて学ぶ

支部長 三條 貴之

(上所小 平元年度)

ときわ会令和七年度代議員会
で山田浩之会長から

あなたはなぜときわ会に
入っているのか？

と問われました。皆さんなら、
どのように答えますか？ 私
は、すぐに「仲間がいるから」
と思いましたが。自分が教師とし
て何とかここまでやってこれた
のは、苦楽を共にした仲間のお
かげだと思ったからです。
皆さんにもそれぞれの答えがあ
ると思います。その答えを改
めて考えることで、今とこれか
らの自分の目標を定めるいい機
会になると思います。

私からは、皆さんへ次のよう
に問います。

あなたはなぜときわ会に
入ったのか？

会員の皆さんがときわ会に入っ
た動機や理由は何だったので
しょうか。

新採用時代の私は、自分の指
導力不足で学級経営に自信がも
てずにいました。そんななか、
体育主任になり、小体連や部活
動の大会などで先輩や同世代の
仲間と自身の体育授業や部活動
指導における精神論や指導法を
熱く語り合っていました。

その時に出会い、語り合った
同世代の仲間が、その後の私を
支えてくれることになりました。

二校目の赴任地は、極小規模
の学校でした。私はそこで入会
を決めました。授業力はもちろ
ん、学級経営力を高めるために、
勤務校以外でたくさんの同世代
の教員と情報交換がしたいと強
く思ったからです。そして、そ
の支部の若手研修会で学級活動
の分科会に参加したり、発表し
たりすることが始まりました。
同期の会にも目的意識をもって
参加するようになりました。

「なぜときわ会に入ったのか？」

私の答えは、

自分の悩みを誰かに分かって
もらい、自分の努力を誰かに
認めてもらいたかった。

となります。しかし、それであ
ればときわ会に限ることではあ
りません。もう一つの決め手は、

憧れの先輩がいた。

ということでした

会員の皆さんのなかにも似た
ような理由の人がいるかもしれ
ません。誰と出会ったかが重要
なのです。

当時の私は、達人と言われる

人の授業に憧れて、指導技術に
関する書籍を読んで試したり、
先進校の授業の真似をしたりし
ていました。しかし、いくらス
キルを学んでも、授業は上達し
ません。スキルだけでなく、同
時に授業者のスタイルも学ばな
ければならなかったのです。

スタイルは、その人がもつ個
性や表現方法、行動様式のこと
です。その人の内面から生まれ
るものであり、個性や強みを生
かした立ち振る舞いです。なの
で、書籍や指導案だけでは分か
るものではなく、オンラインや
オンデマンドでも伝わりにくい
ものだと思います。スタイルを
学ぶためには、実際にその人に
会い、細やかな仕草や間合い、
雰囲気などを感じる必要があります。
人との出会い、つながること
で、授業力の向上、社会人として
の成長が図られるのだと思います。

これまでの自分を振り返り、
二つの問いに対する今とこれか
らの私の答えがこれです。

つながりて学ぶため

私はときわ会にいます。